第２回教師みらいセミナーが開催されました！

第２回教師みらいセミナー
　７月１３日（土）　９：30～12：00　＠宮崎南高校
　◎内容
　　「VUCA時代における授業や学習の在り方を考えよう」
　　・宮崎大学教育学部　准教授　遠藤宏美
　　・宮崎市立青島小学校　教諭　谷口夢歩
　◎参加者数
　　会場参加　４５名　　オンライン参加３７名　　計８２名

現代社会はＶＵＣＡの時代と言われています。（※**V**olatility（変動性）、**U**ncertainty（不確実性）、**C**omplexity（複雑性）、**A**mbiguity（曖昧性））このような時代に、やがて社会を支えていくことになる子供たちに必要な力をつけるために、教師はどのような手助けができるか、どのような授業や学習が求められるかについて、参加者同士で考えを深めました。

まず遠藤先生が、これまでの授業の特徴とＶＵＣＡ時代に求められる授業や学びについて説明されました。

・従来の一斉授業は、一人の教師で大勢の子どもに教えられるというメリットがあるが、子どもはそれぞれ理解するペースが異なり、一人ひとりに合わせることが難しい。同調圧力が働いたり正解至上主義に陥りやすい。
・ＶＵＣＡ時代には、変動する世の中に柔軟に対応する力、予測できないことにも立ち向かう力、様々な角度から物事を考え自分で解決する力、前例のない問題に向き合い新たな道を切り開く力が求められる。
・国際化や情報化など社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を育成するため、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習の時間が新設された。
・教科と、総合的な学習の時間では、教師の果たす役割は大きく違う。

以上のことを踏まえたうえで、青島小の谷口先生から提示された青島地区の特色を題材にして、探究のテーマや学習方法についてグループで話し合いました。防災、観光、環境、国際理解などのテーマを通し、子どもたちにどのような力を身につけさせたいか、どのような方法で探究を進めていくか、期待される学習の効果についてなど、各グループから積極的にいろんな意見が出されました。

そして、谷口先生の青島小での実践報告で、探究的な学びをとおして子どもたちが壁にぶつかりながらも、教師の適時のアドバイスと手助けによって探究を進める様子や変容・向上していく様子を実感しました。

最後に遠藤先生が「ＶＵＣＡ時代だからこそ、教師の専門性が活かせる。ＡＩは決まった正解は示せても、一人ひとりの子どもをよく見て感性に寄り添うことはできない。教師は人づくりに携わる夢のある仕事です。」と話されました。これからの、教育、学び、教師の役割について考えるセミナーとなりました。

受講者の感想より

〇AIにできないことがこれからの先生に求められるということで、総合的な学習の時間はまさにAIにはできない学習指導だと思います。青島で行っている総合的な学習の時間は子供たちの探究心を伸ばし培っていく学習で素晴らしいものだと思いました。
〇子供達に教える立場だけでなく、自分自身も活動を通して子供達から学んだりするという新たな視点に魅力を感じました。セミナーは自分の視野を広げる良い機会だと思いました！！ありがとうございました。
〇今回で二回目のセミナーを受けて、より先生になりたいという気持ちが高まりました。また、他の学校の人との交流もできて様々な意見を聞けたりする事ができてとてもいい時間になったと思いました。
〇VUCA時代ということをこのセミナーで初めて知り、その中で教員はどのようなことを行えばいいのか様々なことを学ぶことができ、将来の自分の将来像をより想像することができました。